
捨て猫

gautyo

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

捨て猫

【Nコード】

N4984F

【作者名】

gautyo

【あらすじ】

とある公園で知り合った、捨て猫とホームレスの話。

ある雨の日・・・

僕は公園の片隅でその人に出会った。

腹ペコで丸まっていた僕にパンの耳とミルクをくれた。

「たんとお食べ。」

優しく呟くその人は悪い人には見えなかった。

「おや、どうした？おじさんの顔になんかついてるかい？」

無意識にじっと見つめていた僕の頭を撫でながら微笑んでいた。

僕は照れくさくなって、目の前のエサをかぶりつくように食べた。

「いい食べっぷりだ。早く大きくなれよ。」

その人の言葉はとても温かかった。

「また明日も持ってきてやるからな。」

そう言うと、その人は公園にある廃材でできた家に入っていった。

その日から、毎日決まった時間にご飯を持ってきてくれるようになった。

僕もこの人という事がうれしく思うようになっていた。

そんなある日のこと、その人はご飯を食べる僕の頭を撫でながら独り言のように語り始めた。

「おじさんはね、お前と同じなんだよ。」

「お前も誰かに捨てられたんだろう?」

僕は食べるのを止め、その人の顔を見つめていた。

「おじさんもね、捨てられたんだよ。・・・社会にね。」

その人の目には涙が滲んでいた。

「おじさんには家族もいたんだ。リストラされてね、借金がかさんで家庭は崩壊。何も残らなかった。」

僕はその人に甘えてみた。

慰め・・・になるかと思ったのだ。

「どうした?お前も寂しいのか?」

そう言うとその人は僕を抱きしめてくれた。

その人の腕の中は温かく、優しかった。

「そうだ!お前に名前をつけてやろう。タクヤ。そう、お前はタクヤだ!」

僕はなぜか嬉しかった。

その理由と「タクヤ」の名前の意味を僕は後に知ることになった。

その日は冷たい雨が降っていた。

僕はいつものようにその人が帰ってくるのを待っていた。

でも、その日はとうとう帰ってこなかった。

次の日も、そのまた次の日も・・・

その人は帰ってこなかった。

捨てられた・・・そう思い込みかけたときだった。

その人の家に近づく人たちがいた。

「親父・・・こんなところに住んでいたんだ？」

「あの人も辛かったでしょうね・・・」

「タクヤ、中の荷物を早くだしてね。」

あの人・・・タクヤ？

僕はいても立つてもいられなくなり、タクヤと呼ばれた人の側に行
った。

「おや？この猫・・・」

その人は僕を抱き上げて言った。

「お前がタクヤか？」

僕は返事を返した。

「親父、お前のことをよほど大切にしてたんだ・・・」

僕には訳が解らなかった。

「親父、いや、お前のご主人はおとといホームレス狩りにあってな・・・死んだんだよ。」

死んだ？僕には受け入れる事ができなかった。

「パンの耳を握り締めながら・・・お前の名前を呼んでいたそうだな。」

その人は目に涙をためていた。

「お前のご主人は、俺の父さんなんだ。」

僕はその人とは何故僕に「タクヤ」と名づけたのか、初めてわかった。

「お前がいてくれたお陰で、親父は寂しさをまぎらわす事ができたんだろうな・・・ありがとう、タクヤ。」

僕は悲しかった。

僕はまた一人ぼっちになってしまったからだ。

「タクヤ・・・その猫、どうするの？」

「母さん、こいつはもう一人の俺だよ。親父がタクヤと名づけた、もう一人の家族だよ。」

「そうね・・・」

こうして僕はこの人たちに拾われた。

その人は今、遠い世界にいる。

そして見てくれている。

僕は今、あなたの息子になれたことを幸せに思っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4984f/>

捨て猫

2010年10月9日07時00分発行